

自然保護部野生動物の森 ⑭ドウダンツツジ 2014.6

6月になると、大川入山などでは、サラサドウダンの花をたくさん見かけるようになります。ツツジ科ドウダンツツジ属の木です。漢字では更紗灯台とか更紗満点星と書きます。別名はフウリンツツジ（風鈴躑躅）。まさに小さな風鈴のようで、下向きに花が咲きます。花の先（下側）が赤みを帯び、上側が白く、その間に赤いすじが入っています。赤みの強いものからほぼ白に近いものまでバリエーションがあります。冬芽も赤く、吹雪の中で見る赤い冬芽は温かみを感じ、凍える中でもほっとさせてくれる存在です。岐阜県、長野県では多く見られますが、愛知県ではほとんど見るできません。

白花のものを、シロバナフウリンツツジといい、大川入山でもわずかに見ることができます。探してみてください。

三ッ瀬明神山には、カインンサラサドウダンが多くあります。サラサドウダンより花冠の赤みが多く、花も多かつくので、絢爛豪華に感じます。太平洋側の山地に分布しますが、限られた場所ではしか見るできません。明神山にカインンサラサドウダンがあるのは誇らしく思います。

一方、ベニドウダンは、花冠全体が赤くなっています。これも大川入山や蛇峠山などで見られます。サラサドウダンの花冠の先は5つに裂けていますが、ベニドウダンはさらに細かく裂けています。単に色だけの違いではないのです。別名をチチブドウダンと言います。御在所岳でも見ることができます。

林



コアブラツツジ



ベニドウダン